

## 校内研修“おたすけ”シリーズ①

# 進路保障の理念



島根県教育庁人権同和教育課

みなさんこんにちは、  
この動画は、校内研修おたすけシリーズ①  
「進路保障の理念」について、  
島根県教育庁人権同和教育課よりお伝えするものです。

## この動画の流れ

- 1 はじめに
  - ▷ねらいの確認
- 2 「進路保障」の理念
  - ▷「進路保障」とは？
  - ▷演習
- 3 まとめ
  - ▷「実態と背景に目を向ける」
  - ▷「生きる力」を育む
  - ▷「人権教育の目標」

それでは、この動画の流れを確認します。

「1はじめに」でこの動画のねらいを確認します。

「2進路保障の理念」では進路保障についての説明と演習を行います。

「3まとめ」で全体のまとめをします。

# 1 はじめに

## ○ ねらい

島根がめざす人権教育の柱である  
「進路保障」について理解を深める。

それでは、はじめに、今回のねらいを確認します。

「島根がめざす人権教育の柱である「進路保障」について理解を深める。」  
です。

## 2 「進路保障」の理念

### ▷ 「進路保障」とは？

#### ◇進路保障◇

すべての子どもたちの実態とその背景に目を向け、一人一人が将来をたくましく切り拓いていく力、すなわち「生きる力」を育んでいこうという理念です。

『人権教育指導資料第2集 しまねがめざす人権教育』 P.1

それでは、本題に入ります。「進路保障」とはなんでしょう。★

進路保障とは、

「すべての子どもたちの実態とその背景に目を向け、一人一人が将来をたくましく切り拓いていく力、すなわち「生きる力」を育んでいこうという理念です。」

「人権教育指導資料第2集 しまねがめざす人権教育P1」にも書いてありますので、お時間があるときにご確認ください。

では、「子どもたちの実態とその背景に目を向ける」とはどういうことでしょうか。

また、「生きる力を育む」ためにどうすればよいのでしょうか。★

そこで、ちょっと考えて見ましょう。

## 2 「進路保障」の理念

▷ ちょっと考えてみましょう

「忘れものをよくする子」がいます。

■ 「また忘れたのか！」頭ごなしに叱る。

→ その子の背景や要因について考えていない。

→ その子の困り感に寄り添えていない。

「忘れものをよくする子」がいます。★

その子への対応として、ついつい「また忘れたのか！」と頭ごなしに叱ることもあるのではないのでしょうか★

しかし、このような対応は、

- ・その子の背景や要因について考えていません
- ・その子の困り感に寄り添えていません

その結果、改善されず、繰り返し忘れ物をしてしまうことに繋がっているかもしれません。

こうした対応は、「進路保障」の理念に基づいているとは言えません。

では、皆さんの学校を例にして「進路保障」を具体的にイメージしてみましょう。

## 2 「進路保障」の理念

2 分間

▷ 演習をしてみましよう

- ① あなたが関わってきた子どもや保護者の中で、気になった子どもや保護者を1人思い浮かべましよう。

気になる様子、状況をワークシートに書きます。

①の欄に書き込みます。箇条書きでかまいません。

ここからは、演習を進めていきます。

①まず、あなたが関わってきた子どもや保護者の中で、気になった子どもや保護者を1人思い浮かべてください。★

- ・気になる様子、状況をワークシートに書きましよう。
- ・箇条書き、単語程度で結構です。★

ここで一旦動画を止め、2分程度で書き出し、そのあと続きをご覧ください。

よろしいでしょうか。  
先に進めます。

## 2 「進路保障」の理念

2分間

▷演習をしてみましょう

②そのような様子、状況であった要因や背景について考えましょう。

要因や背景をワークシートに書きます。

②の欄に書き込みます。箇条書きでかまいません。

②次に、①で書いていただいた様子、状況であった要因や背景について考えてみましょう。★

・自分で判断したこと、周囲の状況からつかめたこと、子どもや保護者との話でつかめたことなどワークシートに書きましょう。

・箇条書き、単語程度で結構です。★

ここで一旦動画を止め、2分程度で書き出し、そのあと続きをご覧ください。

よろしいでしょうか。  
先に進めます。

## 2 「進路保障」の理念

2 分間

▷ 演習をしてみましよう

③ その子どもや保護者の支援のために、  
どのような取組を行いましたか。

支援のために行った取組をワークシートに書きます。

③の欄に書き込みます。箇条書きでかまいません。

③ その子どもや保護者の支援のために、あなた（または周囲の教職員）はどのような取組を行いましたか。★

- ・ 支援や取組をワークシートに書きましよう。
- ・ 箇条書き、単語程度で結構です。★

ここで一旦動画を止め、2分程度で書き出し、  
そのあと続きをご覧ください。

よろしいでしょうか。  
先に進めます。

## 2 「進路保障」の理念

5 分間

▷ 演習をしてみましょう

④ お近くの人と情報交換してみましょう。

記入したワークシートをもとにお近くの人と情報交換しましょう。

④ それでは、今書き出したことを、近くの人と共有しましょう。★  
ワークシートをもとに伝え合ってください。お話しをされる中で補足の説明をしていただいてもかまいません。★

ここで一旦動画を止め、5分程度で書き出し、そのあと続きをご覧ください。

よろしいでしょうか。  
先に進めます。

### 3 まとめ

「進路保障」の理念とは

▷ 「実態と背景に目を向ける」

- 気になる子どもや保護者の様子を思い浮かべる。
- その背景を考える。
- どのような支援を行っているのか振り返る。

今、体験していただいた演習は、★

- ① 気になる子どもや保護者の様子を思い浮かべる
- ② その背景を考える
- ③ どのような支援を行っているのか振り返る

という流れで考え、話し合っていました。

進路保障の理念とは、

体験してもらったように、

まずは、教職員が一人一人の子どもと関わっていくなかで、子どもの思いや願い、生活環境や人間関係等の実態やその背景に目を向け、取り組むべき課題を明らかにしていきます。

### 3 まとめ

「進路保障」の理念とは

組織として  
進める

▷ 「生きる力」を育む

- 子どもの学ぶ権利を阻害している要因を取り除くための取組
- 子ども自身が困難を乗り越えていくための意欲や力を育めるような取組

そして、「生きる力」を育むために、★  
明らかになった課題の解決に向けて、家庭や関係機関と連携し、  
・子どもの学ぶ権利を阻害している要因を取り除くための取組や  
・子ども自身が困難を乗り越えていくための意欲や力を育めるような取組を★

組織として進めることです。

### 3 まとめ

#### ▷人権教育の目標

自分を大切にし、他の人も大切にできる子どもの育成

「進路保障」の  
取組を進める

「大切にされた」と  
実感する経験の蓄積

「人は大切にされる存在」と体験的に学ぶ

最後に、進路保障の取組を進めることは、子どもたちの成長にどのように繋がっていくのでしょうか。★

①進路保障の取組つまり実態や背景を把握し、必要な取組を組織的に行うと

②子どもたちは自分は「大切にされた」と実感していきます

③そのような経験を積み重ねていくことで、

「人は大切にされる存在」なんだと体験的に学んでいきます。

④そうした体験が繰り返されることにより、自分を大切にし、他の人も大切にできる子どもが育ちます。★

このように「進路保障の理念に基づく取組」は、人権教育の目標につながっていきます。

「進路保障」の理念にもとづく取組について簡潔にお話ししました。

詳しくは、校内研修“おたすけ”シリーズ②「進路保障の理念に基づく取組の手法」をご視聴ください。

以上でこの動画を終わります。

ご視聴、ありがとうございました。